

研究課題名 (研究番号)	角膜の前後面曲率半径比が白内障術後屈折誤差に及ぼす影響の検討 (2017047)
当院の研究責任者 (所属)	加賀 達志 (中京病院 眼科)
本研究の目的	これまで測定する方法がなかった角膜後面の計測が可能な機器により、角膜前面と後面の曲率半径比を求め、白内障術後の屈折誤差との関係を検討することを目的とする。
調査データ 該当期間	平成24年1月から12月末までの情報を調査対象とする。
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さま 上記期間内に白内障手術を施行し、手術3ヶ月後の受診が可能であった方。 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用する。 性別、年齢、角膜曲率半径、角膜屈折力、角膜厚、屈折値、等
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はない。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会及び学術論文で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話:052-691-7151 担当者:眼科:長谷川 亜里
備考	